

パブリックコメント(3月23日～4月12日)の要点整理

	主な意見の内容	最終報告案への反映
パブリックコメント (5人、12件)	<p>「第1 計画の趣旨等」</p> <p>「4 計画が対象とする文化の範囲」について</p> <p>① 「文化の振興」や「計画が対象とする文化の範囲」の定義が曖昧。</p>	<p>① 「計画が対象とする文化の範囲」は、美術・音楽・文芸などの芸術、華道・茶道などの生活文化、映画・アニメなどのメディア芸術、音楽・能楽・詩吟・舞・囲碁などの芸術・娯楽、獅子舞・曳山などの伝統文化を中心に、にぎわいづくり、産業振興、観光との連携など「文化と他分野の連携」による総合的な文化振興の観点から記載することとしている。(P3)</p>
<p>「第2 文化活動の現状と課題」</p> <p>「1 県民の文化活動」について</p> <p>② P17の「県内美術界で、日展に参加する美術家は多く、～(中略)～県内美術界でも指導的な役割を果たしている」の記載は、日展偏重を疑わせるため不適切</p> <p>③ 県内の文化活動を専門としている(しようとしている)者の文化活動の実態も調査してほしい。国勢調査だけでなく、県独自の調査・分析があったほうがよい。</p>	<p>② 当該記載は、各種団体が行う全国巡回展のうち、歴史が古く総合的な美術展覧会である日展について県内の状況を書いたものであって、日展偏重を意図しているものではない。</p> <p>③ 文化活動の担い手は県民である(P46)ことから、県民アンケートを県民の文化活動の現状や大まかな傾向を把握し、今後の施策の方向性を検討するために行ったものである。また、この他にも企業や芸術団体等へのアンケートや個別のヒアリングを実施した結果を改定案に反映したもとなっている。</p>	
<p>「第5 主な重点施策」</p> <p>「1 文化活動の幅広い県民の参加」について</p> <p>④ 古い文化施設の緊急な耐震補強工事を最優先事業として欲しい。</p> <p>⑤ 県立文化施設の老朽化について、計画的に対応して欲しい。</p>	<p>④ 主な重点施策の「優れた音楽、美術、演劇などを文化施設で鑑賞する機会のある県民」では、「県民会館・美術館の耐震化・防災対策等を推進する」(P53)としている。</p> <p>⑤ 主な重点施策の「優れた音楽、美術、演劇などを文化施設で鑑賞する機会のある県民」では、「県民会館・美術館の耐震化・防災対策等を推進する」(P53)としており、老朽化対策についても計画的に実施してまいりたい。</p>	
<p>⑥ 美術館等多くの文化施設を連携させることにより、より発信力が強くなると考えられる。例えば、展覧会等の内容について、統一性をもたせ、「ふるさととやま」の魅力を発信する仕掛けが重要。</p>	<p>⑥ 主な重点施策の「優れた音楽、美術、演劇などを文化施設で鑑賞する機会のある県民」では、「県内外の文化ホール、今年度も、例えば、高志の国文学館の開館に併せ、立山博物館において文学をテーマとした企画展を開催する予定である。また、同時期に行われるボスマターリエンペーレ展、高志の国文学館の企画、とやま世界ことば舞台芸術祭を相互に連携を図ることとしている。今後ともこのような連携を図ってまいりたい。</p>	
<p>⑦ 「若手芸術家の育成」は、団体などに関わらず、広く公正な対象として欲しい。</p> <p>⑧ ボランティアの養成・活用については、文化施設ごとではなく、県市で部門別に一括養成・活用を図ってほしい。</p>	<p>⑦ これまでも県展や越中アートフェスタなどの公募展では、幅広く公正に実施しているところであり、今後も適正に行ってまいりたい。(P57)</p> <p>⑧ 主な重点施策の「支援する人々との協働の促進」において、「文化ボランティアを養成する」(P58)としている。現在も各施設において、様々な内容で多くの方々に支援いただいているところである。ボランティアの内容は各施設によって異なるため、一括で養成することは難しいが、連携・協力できる部分については検討してまいりたい。</p>	
<p>⑨ 小学校の「専科職員」、中学校の「免許外教員・非常勤講師」にプロの芸術家を配置するなど作家の支援として充実して欲しい。</p>	<p>⑨ プロの芸術家を配置し、その専門性を指導に活かすというご意見は、小学校の「専科職員」等の配置の趣旨から考え、ありがたい。主な重点施策の「学校教育における文化活動の充実」において、「学校～」の当該分野の講師派遣に努める」(P61)としており、現在も実施しているところであるが、今後とも配置に努めてまいりたい。</p>	
<p>「2 質の高い文化の創造と世界発信」について</p> <p>⑩ 「アジア諸国の舞台芸術機関との連携」(P65)について、「東アジアをはじめ世界各国との～」とあるが、より広範囲な文化交流をイメージできるように「アジアをはじめ世界各国との～」とすべき。</p> <p>⑪ 県・市主催の展覧会情報の充実や県展HPに過去の受賞者を掲載するなどPRの充実</p>	<p>⑩ 「東アジアをはじめ世界各国との～」を「アジアをはじめ世界各国との～」に修正する。</p> <p>⑪ 富山県博物館協会のHPに市町村等の展覧会等の情報が掲載されているが、より見やすくなるような工夫をしてまいりたい。また県展のHPについては、過去の受賞者を掲載するなど充実を努めてまいりたい。(P74)</p>	
<p>「3 文化と他分野の連携」について</p> <p>⑫ 富山駅を基点に「文化施設巡回コース」を設けるなど、来県者の多様なニーズに応えられる具体的な観光コース等を検討すべき。</p>	<p>⑫ 主な重点施策の「文化を活かした観光の振興」では、「本県の多彩で特色ある文化施設を新たな観光名所として活用し、文化振興とともに観光の活性化を推進する」(P76)としており、ご提案の富山駅を起点とする文化施設巡回コースについては、現在、富山ミュージアムバスによる巡回コースが設けられており、今後、このミュージアムバスとの連携を検討してまいりたい。</p>	